

2009 年 6 月号

プレス会報 大阪

OSAKA METAL STAMPING ASSOCIATION'S NEWS

News Report

OMSA

▼ TABLE OF CONTENTS ▼

- ◆ 第33回 通常総会..... 2
- ◆ 平成21年度 事業計画 4
- ◆ 平成21年度 行事予定表..... 6
- ◆ 平成21・22年度 事業運営委員会組織..... 7
- ◆ 平成21年度 収支予算表..... 8
- ◆ ものづくり中小企業支援について.....13
- ◆ 2009年版 ものづくり白書等説明会.....17
- ◆ 最新メンタルヘルス対策セミナー.....18

社団法人 大阪金属プレス工業会

<http://www.omsa.or.jp/>

第33回 通常総会

第7代会長に、夏山享啓氏が就任

本会の第33回通常総会が、去る5月26日（火）午後16時から、たかつガーデン3階「カトレア」の間において開催された。

中辻 康総務担当委員長より、総会の成立（正会員106名の内、委任を含め73名が出席）が報告された後、同氏の司会で進められた。

はじめに吉田会長から「今日は、第33回通常総会に多数のご参加を賜りまして厚くお礼申し上げます。

平素は工業会諸事業の推進にご理解ご協力を賜りこの場を借りまして厚くお礼申し上げます。さて、昨秋の米国サブプライムローンによる金融危機から端を発した、100年に一度といわれている世界同時不況ですが、5月の日銀短観ではようやく底打ち感がでてきたとのことで、この秋口から徐々に回復の兆しが見えるのではないかと期待しているところです。各企業におかれましては、今が一番苦しい時期かと思いますが、もう少し我慢していただき、来る時期に備えておられますようお願いいたします。今日は、役員改選もございますが、活発なご審議のほどよろしくお願い致します。」と挨拶があった。

次いで、中辻委員長から出席者に対し、本総会の議長の選任について諮ったところ、吉田会長を満場一致で選任した。議長は、議事録署名人に植村 隆氏（佐々木工業㈱）と難波勝利氏（㈱エスケイケイ）の両名を指名し議事に入った。



【第1号議案】平成20年度事業報告及び収支決算について

議長は、池田事務局長をして平成20年度に当工業会が実施した事業内容及び会員の異動状況ならびに同年度における収支決算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について、それぞれ配布した総会資料（全会員に送達済み）により報告させた。

次いで、宇良 浩監事から前記の決算関係書類を監査したところ、いずれも正確且つ適正であることを確認した旨の監査報告がなされた。

ここにおいて、議長は議場にその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

【第2号議案】平成21年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

議長は、池田事務局長をして平成21年度の事業計画（案）及び収支予算（案）について、配布した総会資料に基づき説明させた。

ここにおいて、議長は議場にその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

■平成21年度 事業計画及び収支予算別掲

【第3号議案】任期満了に伴う役員改選について

議事を円滑に進めるため、事務局があらかじめ準備した「平成21・22年度役員候補者名簿」に記載の下記の理事候補者23名（留任21名、新任2名）及び監事候補者2名（留任）を選任することについて議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認可決した。

理事 朝田 政男	理事 東 潤一郎	理事 飯田 勝	理事 植村 隆
理事 児玉 敏幸	理事 佐藤 進	理事 島田 恒幸	理事 多田 修
理事 津村 卓男	理事 中辻 康	理事 夏山 享啓	理事 難波 勝利
理事 新川弘一郎	理事 西村 哲也	理事 藤田 格平	理事 南 雅佐夫
理事 宮永 憲一	理事 森 譲	理事 山口登志夫	理事 横幕 武夫
理事 吉田多佳志			(以上 留任 21名)
理事 河合 邦晃	理事 斎藤 弘		(以上 新任 2名)
理事 河合 寛人	理事 楠 幸雄	理事 小西 敏夫	理事 中谷 哲也
			(以上 退任 4名)
監事 濱田 恵	監事 宇良 浩		(以上 留任 2名)

その後、定款第11条3項により、理事の互選をもって会長1名、副会長4名を選出した。

会 長 夏山 享啓（新任）

副会長 宮永 憲一（留任）

副会長 新川弘一郎 佐藤 進 中辻 康（以上新任）

以上をもって、第33回通常総会の全議案の審議を終了したので、吉田議長は審議協力への謝辞述べ降壇した。

その後、新旧会長の挨拶・交代式をもって、17時中辻委員長は閉会を宣した。

その後、会場を8階「たかつ東中」の間に移し、会員・来賓の総勢55名による懇親会が開催された。



平成21年度 事業計画

1 総務委員会

1-1[総務関係]

- (1) 総会・理事会・委員長会を通じて、工業会の運営基盤の強化をはかる。
- (2) 任期満了に伴う役員改選を円滑に遂行する。
- (3) 事業運営組織の改編ならびに委員会制度の見直しを行い、事業の活性化を図る。

【新組織図(案)7ページに掲載】

- (4) 青年部会の組織の拡大及び活動等を支援する。

1-2[交流関係]

- (1) 総会及び新年賀詞交歓会時に懇親会を開催し、会員相互の親睦・交流をはかる。
- (2) 経営者懇話会を開催し、経営上の諸問題について情報交換・相互援助の場を提供する。
また、忘年会を開催して親交を深める。
- (3) 機関誌「プレス会報」を年5回発刊し、話題性のある記事や特集記事等を掲載して、誌面の充実をはかると共に会員企業間のPR及び誌上交流をはかる。また、ホームページにも掲載する。
- (4) 「入会のしおり」及びホームページ等を駆使して、会員の増強をはかる。

2 経営委員会

2-1[経営関係]

- (1) 新年賀詞交歓会時等に記念講演会を開催する。
- (2) OMSA-HP のコンテンツの充実をはかり、会員のニーズに応える。

2-2[労務関係]

- (1) 昨年に引き続き、地引き網&BQ 大会(3月)を開催し、会員相互の親睦・厚生活動に寄与する。
- (2) 労務管理研究会を2回開催し、労使関係のトラブル防止及び労務改善を図るとともに、年々改訂される労働関係法令を学習する。
- (3) 毎年好評の家族ハイキング(12回目)を本年も実施する。

3 安全・技術委員会

3-1[安全関係]

- (1) 労働災害調査の回答率(前年度48%)を高め、災害防止対策及び労災収支改善をはかり、更なる労働保険率の軽減をはかる。
- (2) 日金協が主催するプレス安全・環境大会に積極的に参加する。
- (3) プレス安全教育を実施するほか、プレス機械作業主任者技能講習等の安全教育受講を支援する。

3-2[技術関係]

- (1) 技能検定(プレス加工)の実技試験を府より委嘱をうけて、公正且つ円滑に実施する。
- (2) 技能検定(学科・実技)の準備講習会を開催し、同検定受検者の合格率向上をはかる。
- (3) 日金協主催のプレス加工技術研究会(大阪会場)に協賛参画し、最新技術の習得を助成する。
- (4) 実践的な品質管理教育のテーマを決めて実施し、技術・技能のスキルアップをはかる。
また、プレス加工・金型の基礎知識講習会を開催する。(Web ラーニングの普及)
- (5) 先端企業ならびにプレス機械メーカー・周辺機器メーカー等を見学し、自社の生産性の向上や工程設計に役立てる。
- (6) 「ISO 旬報」を年4回発行、ISO9001 のグループ QMS、ISO14001 のネット EMS を詳しく解説し導入を勧奨する。
- (7) 品質関連セミナーは中産連に委託しシリーズ化する。(4年度目)

4 青年部会

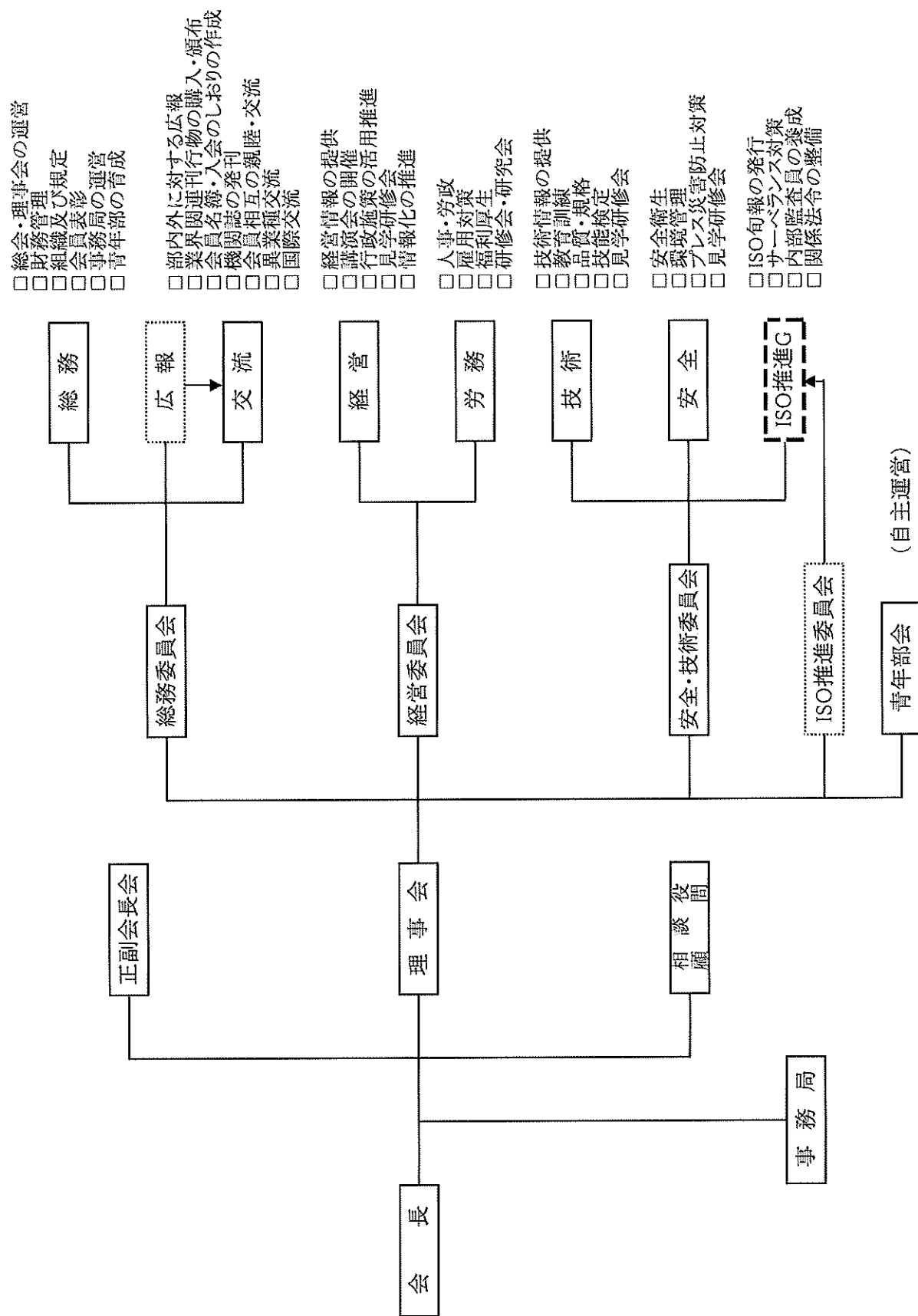
- (1) 組織の拡大及び活性化のため、会員の増強をはかる。
- (2) 新会長のもと、活発な事業展開をはかり、次代を担う後継者の育成に努める。

5 年間行事予定表(案)

平成21年度 行事予定表 (案)

総務委員会			経営委員会		安全・技術委員会		青年部会	日本金属プレス工業協会
総務関係	交流関係	経営関係	経営関係	対務関係	安全関係	技術関係		
4月 14日 第1回正副委員長会議 21日 第1回正副会長会議 21日 第103回理事会					平成20年度 労働災害調査		27日 総会	8日～11日 東京ビックサイト ◆金属プレス加工技術展2009 ◆INTERMOLD2009/金型展 21日 ICOSPA委員会
5月 26日 第33回通常総会	26日 総会懇親会						26日 親会総会	19日 第1回理事会 19日 第33回通常総会 20日 金属プレス加工技術研究会 下旬 第1回事業委員会
6月	中旬 第1回 総務委員会	中旬 プレス会報4～6月号	中旬 第1回経営委員会			中旬 第1回 安全・技術委員会	中旬 例会	
7月			下旬 経営・労務管理研究会[1]				下旬 OB・現役合同交流会	中旬 第2回理事会 下旬 金属プレス加工技術研究会
8月	下旬 プレス会報7～9月号 下旬 経営者懇話会					【前期技能検定・プレス加工】 1・2日 学科講習会	下旬 例会	
9月		中旬 経営者セミナー				【前期技能検定・プレス加工】 3～6日 実技講習会 7～10日 実技試験	中旬 家族例会	中旬 ICOSPA委員会 下旬 第3回事業委員会 金属プレス加工技術研究会
10月	上旬 第2回正副委員長会議 中旬 第2回正副会長会議 中旬 第104回理事会					中旬 工場見学会	中旬 3地区区合同交流会 (京都主催)	中旬 公益法人法検討会 全国事務局連絡会議
11月	中旬 プレス会報10～12月号	中旬 経営・労務管理研究会[2]	中旬 第12回健康・ハイキング		中旬 第25回 プレス安全・環境大会	中旬 ISO旬報発行	中旬 例会	中旬 第3回理事会 第25回 プレス安全・環境大会 第3回事業委員会
12月	中旬 忘年会						中旬 忘年会	上旬 ICOSPA委員会
1月	上旬 プレス会報新年号 下旬 新年賀詞交歓会	下旬 新春特別講演会				下旬 品質改善セミナー	下旬 親会新年賀詞交歓会	中旬 新年賀詞交歓会
2月					下旬 プレス安全教育		中旬 見学会α講師例会	中旬 公益法人法検討会 下旬 金属プレス加工技術研究会
3月	上旬 プレス会報3月号	上旬 第2回経営委員会	中旬 第5回地引き網&EQ (泉南市・岡田浦漁港)			上旬 第2回 安全・技術委員会	下旬 例会	中旬 第4回理事会
備考					11/1～7 プレス安全検問週間			田原南栄(前山田製鉄所) 会長 長 佐々木豊也(元々木工業) 副会長 長 森田正和(東京製鋼) 総務幹事 西村孝弘(前西村社長) 会員数:22名(121.4.1現在)

平成21・22年度事業運営組織図(案)



平成21年度 収 支 予 算

1 収支予算(案)総括表(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(1) 収 入 の 部

(単位：円)

科 目	平成 20 年度予算額	平成 20 年度決算額	平成 21 年度予算額
入 会 金 収 入	20,000	5,000	20,000
会 費 収 入	13,992,000	13,534,590	12,642,000
事 業 収 入	4,630,000	4,480,940	3,883,000
補 助 金 収 入	200,000	207,180	0
繰 入 金 収 入	1,500,000	1,500,000	1,500,000
雑 収 入	300,000	459,350	300,000
当 期 収 入 合 計(A)	20,642,000	20,187,060	18,345,000
前期繰越収支差額	18,256,053	18,256,053	18,670,082
収 入 合 計(B)	38,898,053	38,443,113	37,015,082

(2) 支 出 の 部

(単位：円)

科 目	平成 20 年度予算額	平成 20 年度決算額	平成 21 年度予算額
事 業 費	8,808,000	9,086,912	8,529,000
管 理 費	11,227,000	10,686,119	9,766,000
積 立 金 支 出	200,000	0	0
予 備 費	80,000	0	50,000
当 期 支 出 合 計(C)	20,315,000	19,773,031	18,345,000
当 期 収 支 差 額(A-C)	327,000	414,029	0
次期繰越収支差額(B-C)	18,583,053	18,670,082	18,670,082

2 平成21年度一般会計収支予算 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(1) 収入の部

(単位：円)

科 目			平成20年度	平成20年度	平成21年度	備 考
大	中	小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 額	
		入 会 金 収 入	20,000	5,000	20,000	
		入 会 金	20,000	5,000	20,000	見込み4社
		会 費 収 入	13,992,000	13,534,590	12,642,000	125社 (H21.4.1現在)
		正 会 員	11,376,000	11,000,180	10,542,000	106社
		特 別 会 員	156,000	156,000	156,000	1社
		賛 助 会 員	2,460,000	2,378,410	1,944,000	18社
		事 業 収 入	4,630,000	4,480,940	3,883,000	
		競 技 会 会 費	290,000	272,500	290,000	地引き綱大会、家族ハイキング
		研 修 会 費	690,000	275,000	150,000	ISO 内部監査員養成・品質セミナー
		講 習 教 材 費	900,000	1,103,000	700,000	技能検定準備講習会 (実技・学科)
		検 定 協 力 費	1,340,000	1,452,700	1,363,000	プレス加工70名、プレス機械使用料
		見 学 会 費	90,000	139,000	60,000	安全・技術委員会
		懇 親 会 費	1,320,000	1,238,740	1,320,000	総会、忘年会、賀詞交歓会、理事会
		補 助 金 収 入	200,000	207,180	0	
		た ん ぽ ぽ 計 画	200,000	207,180	0	
		繰 入 金 収 入	1,500,000	1,500,000	1,500,000	
		運営強化資金積立金取崩	1,500,000	1,500,000	1,500,000	残高 100万円
		雑 収 入	300,000	459,350	300,000	
		雑 収 入	300,000	459,350	300,000	日金協賛金、保険手数料他
		当 期 収 入 合 計 (A)	20,642,000	20,187,060	18,345,000	
		前 期 繰 越 収 支 差 額	18,256,053	18,256,053	18,670,082	
		収 入 合 計 (B)	38,898,053	38,443,113	37,015,082	

(2) 支出の部

(単位：円)

科 目			平成20年度	平成20年度	平成21年度	備 考
大	中	小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 額	
		事 業 費	9,004,000	9,086,312	8,529,000	
		総 務 関 係 費	680,000	679,162	750,000	
		会 議 費	300,000	331,162	370,000	総会、理事会、委員会（総務・交流）
		資 料 作 成 費	120,000	118,000	120,000	総会資料
		報 奨 費	40,000	10,000	40,000	新入会員紹介
		青 年 部 育 成 金	120,000	120,000	120,000	
		顧 問 料	100,000	100,000	100,000	財務顧問料
		交 流 関 係 費	4,404,000	4,231,828	4,339,000	
		懇 親 会 経 費	1,630,000	1,557,187	1,750,000	総会、忘年会、賀詞交歓会、理事会
		交 流 懇 話 会 経 費	20,000	33,930	20,000	経営者懇話会
		団 体 加 入 費	2,545,000	2,527,000	2,449,000	日金協、ものづくり振興協会等
		広 報 関 係 費	209,000	113,711	120,000	プレス会報制作費、刊行物購入費
		経 営 関 係 費	360,000	391,648	490,000	
		会 議 費	40,000	19,128	40,000	委員会（経営・労務）
		講 演 会 経 費	100,000	116,340	200,000	講師謝金、会場費
		H P 維持管理費	220,000	256,180	250,000	接続料、HP 更新料他
		労 務 関 係 費	630,000	776,556	690,000	
		労 務 改 善 費	150,000	142,800	90,000	雇用管理研究会（2回）
		競 技 会 経 費	480,000	633,756	600,000	地引き網、家族ハイキング

(単位：円)

科 目			平成20年度	平成20年度	平成21年度	備 考
大	中	小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 額	
		安 全 関 係 費	150,000	47,740	200,000	
		会 議 費	40,000	19,740	40,000	委員会（安全・技術）
		安 全 研 修 経 費	60,000	28,000	60,000	プレス安全・環境大会
		安全意識高揚経費	50,000	0	100,000	
		技 術 関 係 費	2,780,000	2,959,378	2,060,000	
		会 議 費	0	0	60,000	ISO 推進会議、技能検定会議
		見 学 会 経 費	200,000	144,747	150,000	
		学 習 援 助 費	600,000	659,022	500,000	技能検定準備講習会
		検 定 経 費	1,000,000	1,084,116	900,000	技能検定経費、設備使用料
		顧 問 料	100,000	100,000	100,000	技術顧問料
		I S O 関 係 費	880,000	971,493	350,000	ISO 旬報制作費、品質改善セミナー

(単位：円)

科 目			平成20年度	平成20年度	平成21年度	備 考
大	中	小 科 目	予 算 額	決 算 額	予 算 額	
管 理 費			11,388,000	10,686,119	9,766,000	
	職 員 給 料		2,490,000	1,944,775	1,224,000	パート1名
	退 職 慰 労 金		0	200,000	0	
	顧 問 料		3,960,000	3,960,000	3,960,000	1名
	福 利 厚 生 費		490,000	340,327	120,000	健康診断他
	旅 費 交 通 費		788,000	489,970	622,000	通勤費、出張旅費、連絡交通費
	通 信 費		480,000	445,668	480,000	電話料、郵便料、運送料
	消 耗 品 費		1,010,000	1,102,950	1,120,000	OA機器リース料、事務消耗品
	印 刷 費		30,000	40,600	60,000	コピー紙、封筒、名刺等
	図 書 費		30,000	18,040	30,000	参考図書
	什 器 備 品 費		120,000	131,552	120,000	OA機器メンテ料
	光 熱 費		240,000	244,569	240,000	電気、水道料
	賃 借 料		1,440,000	1,440,000	1,440,000	事務所借料
	慶 弔 費		120,000	149,278	150,000	祝儀、香典
	交 際 費		120,000	126,488	120,000	接待費、会議等参加費
	雑 費		70,000	51,902	80,000	振込手数料、登記料
積 立 金 支 出			200,000	0	0	
	周年事業積立金		0	0	0	
	退職給与積立金		200,000	0	0	
予 備 費			50,000	0	50,000	
	予 備 費		50,000	0	50,000	
当 期 支 出 合 計(C)			20,642,000	19,772,431	18,345,000	
当 期 収 支 差 額(A-C)			0	414,029	0	
次期繰越収支差額(B-C)			18,256,053	18,670,082	18,670,082	

ものづくり中小企業支援について

平成21年5月
中小企業庁

(注)本資料の内容については、国会での平成21年度補正予算成立が前提となります。

1

ものづくり中小企業の試作品等開発支援について

- 近時の大不況は、我が国競争力を支えてきた輸出関連のものづくり中小企業に直撃。このままでは、人材や技術の基盤が崩壊するおそれ。
- 我が国経済をけん引する重要な製造業の国際競争力の強化と次代を担う新産業の創出を推進するため、中小ものづくり企業を重点的に支援する。

1. 支援内容

(1)ものづくり基盤技術の開発への支援
(戦略的基盤技術高度化支援事業)

- ものづくり基盤技術(金型、鋳造、めっき等)の研究開発計画について「中小ものづくり高度化法」の認定を受けた取組を支援。

(2)ものづくり中小企業の試作品開発から販路開拓等への支援

- (ものづくり中小企業製品開発等支援事業のうち試作品開発等支援)
- ものづくり中小企業者が製品化に向けて行う試作品開発から販路開拓等に至る取組を支援。

(3)ものづくり中小企業の製品実証等への支援

- (ものづくり中小企業製品開発等支援事業のうち実証支援)
- ものづくり中小企業者が公設試験研究機関等に対して依頼して行う製品実証試験等を支援。

2. ものづくり基盤技術(20分野)

- | | |
|---------------|----------|
| ●金型 | ●熱処理 |
| ●鍛造 | ●溶接 |
| ●鋳造 | ●めっき |
| ●金属プレス加工 | ●部材の結合 |
| ●組込みソフトウェア | ●位置決め |
| ●電子部品・デバイスの実装 | ●切削加工 |
| ●プラスチック成型加工 | ●織染加工 |
| ●粉末冶金 | ●高機能化学合成 |
| ●溶射 | ●発酵 |
| ●動力伝達 | ●真空の維持 |

DVDやデジカメの高精度化に対応する高精度ガラス光学レンズ用金型の開発



(課題)

- デジカメ等の小型化・高性能化のために、高温での環境下に耐える非球面ガラスレンズ用の金型が必要。

(開発内容)

- 1300度前後の高温に耐える高性能金型素材とその研削・研磨技術等の開発
- これら技術を活用した金型の製品化

LEDランプと画期的なレンズの組み合わせによる街路灯



(課題)

- LEDランプは、照射角度がせまいため、街路灯として使用するためには、多くのLEDランプが必要。

(開発内容)

- 光を効率的に集合・拡散する精密ガラスの切削加工技術の開発
- この技術にLEDを組み合わせた街路灯を開発

過熱水蒸気を使った蒸タコ量産機械の製作とその運転ノウハウの開発



(課題)

- 単純なボイル方法では、蛸の持つ色素が熱湯中に溶け出して鮮やかな赤色が薄くなり、製品価値が低下。

(開発内容)

- 長寿命、低騒音な動力伝達技術を活用した、高温水蒸気で効率的に蛸を加熱処理する量産レベルの製造装置の開発。

戦略的基盤技術高度化支援事業

平成21年度補正要求額:132.5億円

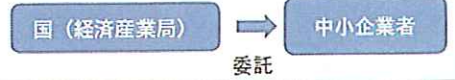
事業の目的

- 世界的な需要の急減速が我が国の競争力の源泉であるものづくり中小企業に深刻な影響を与えている。現状を放置すると、人材や技術の基盤が崩壊するおそれがある。
- このような仕事が減少している今の状況こそ、中小企業の技術力向上、人材育成の取組を支援し、我が国の国際競争力を強化していく。

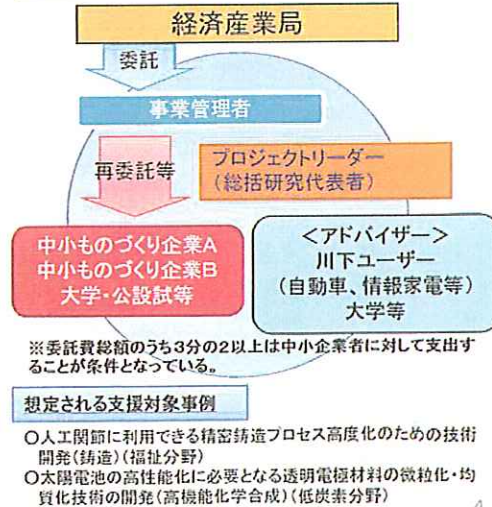
事業の内容

- 我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（鋳造、鍛造、切削加工、めっき等）の高度化に資する革新的かつハイリスクな研究開発等を支援するため、これまで実施してきた「戦略的基盤技術高度化支援事業（委託費）」を大幅に拡充（240件程度）。
- 「中小ものづくり高度化法」に基づく認定を受けた特定研究開発等計画を基本とした研究開発を対象とする。ただし、早期の景気回復へ寄与するため、特定研究開発等計画のうち約1年で実施できる部分を対象とする。
- 上記法認定を受けた中小企業者を含む共同体（中小企業、ユーザー企業、研究開発機関等）が実施者となる。
- 研究開発の成果については、報告書の公開などを通じて、広く一般に公開する。

実施体制



事業イメージ



ものづくり中小企業製品開発等支援事業

平成21年度補正要求額:572.6億円
うち 試作品開発等支援 541.7億円
実証支援 30.9億円

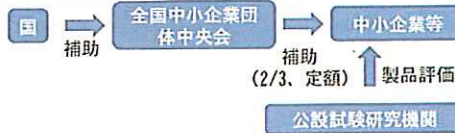
事業の目的

- 世界的な需要の急減速が我が国の競争力の源泉であるものづくり中小企業に深刻な影響を与えている。現状を放置すると、人材や技術の基盤が崩壊するおそれがある。
- このような仕事が減少している今の状況こそ、中小企業の技術力向上、人材育成の取組を支援し、我が国の国際競争力を強化していく。

事業の内容

- 【試作品開発等支援】
- 我が国経済をけん引する重要な製造業の国際競争力の強化と次代を担う新産業の創出を促進するため、ものづくり基盤技術を使った試作品開発から川下事業者等とのマッチングなど販路開拓等の取組を補助金（2/3）により支援（2,000件程度）。
- 【実証支援】
- ものづくり基盤技術を使って作成した製品について、公設試験研究機関等を活用して実証することを支援。
 - 中小企業は公設試験等の同意を得て申請を行い、製品実証のため、中小企業が公設試験等に支払った費用を補助（定額：2,000件程度）

実施体制



事業イメージ

DVDやデジカメ用高精度ガラス光学レンズ用金型の開発
(課題)
デジカメ等の小型化・高性能化のために、高温での環境下に耐える非球面ガラスレンズ用の金型が必要。

(開発内容)
1300度前後の高温に耐える高性能金型素材とその研削・研磨技術等の開発
これら技術を活用した金型の製品化



「ものづくり中小企業の試作品開発から販路開拓等への支援」について

(1) 補助対象経費について

- 補助対象経費は主に人件費、設備費、原材料費、外注費等とする。
- 試作品の仕掛品を仕上げる場合も事業の対象とするが補助対象となる経費は補助金交付決定日以後に発生したものに限る。



<直接人件費>

- 試作開発に直接従事する者の試作開発業務時間に対応する人件費
- 人件費単価は「健康保険等級」等を基準に算定
- 業務日誌による従事時間の管理が必要



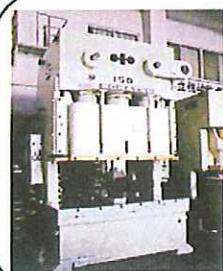
<原材料費>

- 原材料、資材の購入に要する経費。



<外注費>

- 外注加工・検証等の費用
- 大学等からの技術指導の受け入れ
- 公設試、大学等への研究開発の委託
- 特許取得費など



<設備費>

- 試作品開発に必要な機械装置又は工具・器具の購入、試作、改良、据付、借用又は修繕
- 試作品開発に必要な構築物(プレハブ等簡易なものに限る)の購入、改造、改良、据付、借用又は修繕

<販路開拓費>

- 市場調査のための調査会社への委託費
- 広告宣伝費、パンフレット印刷費、展示会出展費
- 調査・宣伝に必要な派遣・役務等の外部人件費

6

「ものづくり中小企業の試作品開発から販路開拓等への支援」について

(2) 補助対象事業について

- 中小企業者が自ら行う特定ものづくり基盤技術(20分野※))を活用した試作品開発と当該試作品に係る販路開拓等に係る取組を対象とする。
- なお、補助事業者が独自のアイデアをもって、試作品開発を行う事業を対象とし、顧客からの注文と対価支払いに応じて行う試作品加工等は、営利目的の生産として本事業の対象としない。

(※) 金型、鍛造、鋳造、金属プレス加工、組込みソフトウェア、電子部品・デバイスの実装、プラスチック成型加工、粉末冶金、溶射、動力伝達、熱処理、溶接、めっき、部材の結合、位置決め、切削加工、線加工、高機能化学合成、発酵、真空の維持

(3) 試作品開発について

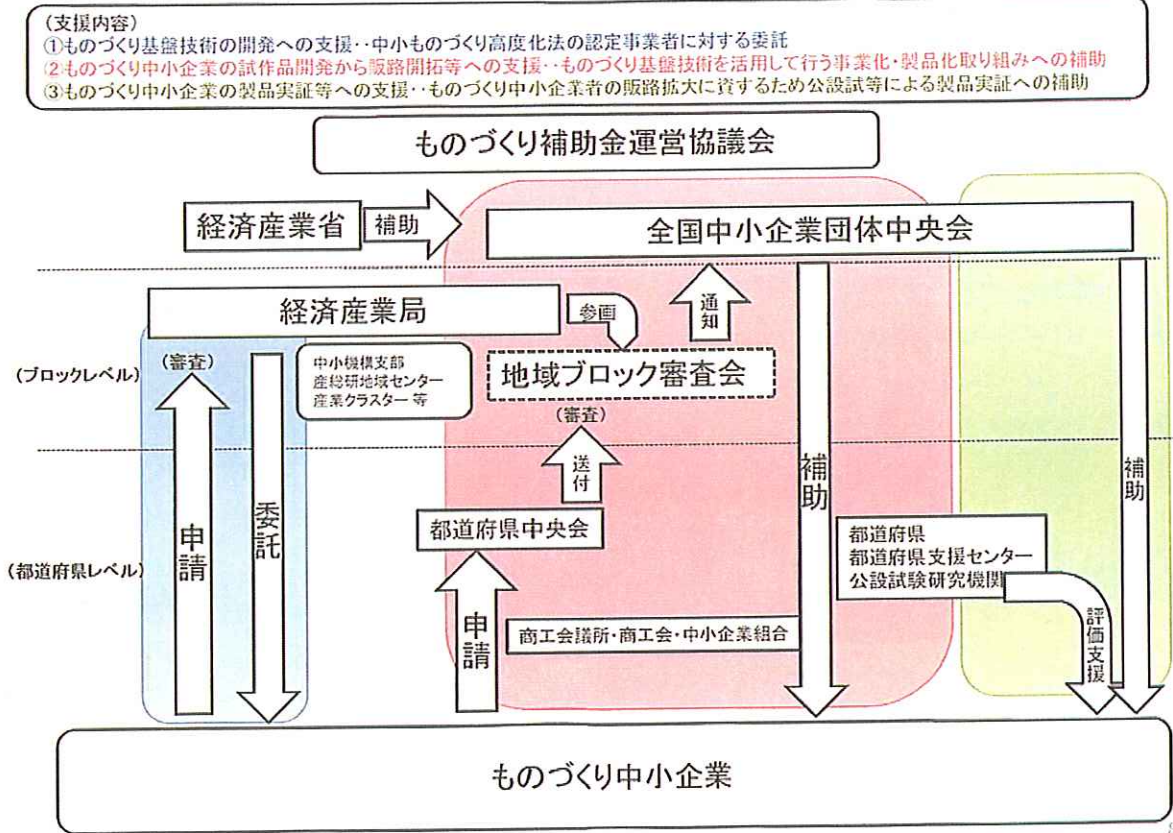
- 試作品開発とは、技術的課題を明確にして試作したものをいう。サンプルを作るにあたり技術課題が存在しないものは認められない。
- 性能評価を行うため試作品を試験機関やユーザーに必要な個数を譲渡・貸与することも可能とする。

(4) 補助対象者について

- 補助対象者は試作品開発等を行うものづくり中小企業者(単体)、共同体(チーム)の双方を可能とする。
- 共同体については、大企業が参加することも可能とするが、大企業が要した経費については、補助対象経費としない。

7

「経済危機対策」に基づく、ものづくり中小企業支援・執行体制図



大阪労働局からのお知らせ

事業主の皆様へ、労働保険年度更新手続は

7月10日(金)までに

お済ませください。

《お問合せ、ご相談》

(申告書の記入方法) 労働保険適用課Tel 06-4790-6340

(保険料の納付) 労働保険徴収課Tel 06-4790-6330

(記入方法・納付) 労働保険事務組合室Tel 06-4790-6350

又は最寄りの労働基準監督署まで。

◎ 電子申請もご利用ください ◎

「労働保険適用徴収・電子申請お知らせページ」

(<http://ip.roho-chosyu.mhlw.go.jp/>)

大阪労働局ホームページ (<http://osaka-rodo.go.jp/>)

－説明会のご案内－

2009年版 ものづくり白書

米国の金融危機に端を発した世界同時不況は深刻度を増し、我が国経済にも大きな影響を与えています。我が国のものづくり産業は、急速な生産調整を余儀なくされ、これに伴って雇用情勢は厳しさを増しています。

こうした中、今回の危機を変革へのチャンスにとらえ、人材を始めとする経営資源の磨き直しや次世代有望分野への投資等を進めていくことが必要です。さらに、これまで内需型産業とされていた産業も含めて、21世紀の成長センターであるアジアとともに成長するという発想を持ち、成長するアジア全体で富を産み出し、それを日本の雇用やイノベーションにつなげ、それをアジアの更なる発展につなげるという好循環を作っていくことが重要です。

本説明会では、経済産業省製造産業局の苗村政策企画官をお迎えし、我が国ものづくり基盤技術の現状と課題、ものづくり基盤技術の振興に関して講じた施策などについてお話しいただきます。

この機会に、ぜひ多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

日 時：平成21年7月6日（月） 14：00～15：30（開場13：30）

場 所：国民會館 小ホール

大阪府中央区大手前2-1-2 国民會館住友生命ビル12階

TEL06-6941-2433

（京阪電車天満橋駅より徒歩5分・地下鉄谷町線天満橋駅より徒歩3分）

講 師：経済産業省 製造産業局

政策企画官 苗村 公嗣 氏

申 込：（財）経済産業調査会 近畿本部 事務局 説明会係

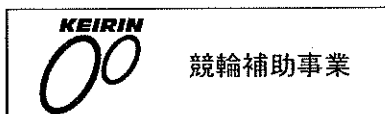
TEL 06 (6941) 8971 FAX 06 (6941) 8974

E-mail: seminar@chosakai-kinki.jp

聴講料：無 料

「セミナー等に関する詳細」、「個人情報取扱い」について

<http://www.chosakai.or.jp/seminar/seminar-annai.htm>



主催 財団法人 経済産業調査会

<http://ringring-keirin.jp>

<http://www.chosakai.or.jp/>

人事・労務ご担当者向け メンタルヘルス対策セミナーのご案内(無料)

厚生労働省は、平成21年4月に、過労自殺の労災認定基準をほぼ10年ぶりに一部改正を行いました。今回の見直しは、「職場における心理的負荷評価表の見直し等に関する検討会」で審議されたもので、労働環境の変化に対応し、ストレス要因となる「職場の出来事」を再評価することで、認定基準を見直しています。

本セミナーでは、長年に渡りカウンセリング現場の一線でご活躍され、セミナーの講師経験も豊富な臨床心理士の伊東眞行先生と、労務管理の実務に精通した社会保険労務士の宮川弘之先生をお招きして、「職場の出来事」の内、「ハラスメント」について、違った角度からご解説をいただきます。

ご多忙の折とは存知あげますが、万障お繰り合わせのうえ、ご来臨賜りますようご案内申しあげま

す。

日 時

平成21年7月8日(水) 13時20分～16時40分 (13時開場)

内 容

ハラスメント対策セミナー ～グループワークを交えた事例検討～



【第一部】

13時20分～ 伊東先生(臨床心理士)

ハラスメントを受けた従業員のカウンセリング事例を
基に、参加者の方にグループワーク形式で対応方法
等を検討して頂いた後に、先生にご解説を頂きます。

【第二部】

14時50分～ 宮川先生(社会保険労務士)

ハラスメントによる休職事例を基に、参加者の方にグ
ループワークで対応方法等を検討して頂いた後に、
先生にご解説を頂きます。

※ 第一部と第二部の間には休憩時間を設けます。

会 場

エル大阪 南館1023号室 (地図は裏面にございます)

共 催

株式会社フィスメック、株式会社H&Iコンサルティング

裏面の必要事項(*印)をご記入の上、FAXにてお申込みください。

○お申込が確定しましたら、受付完了のEメールかFAXをお送りいたします。

【定員:60名】

※先着順となります。同業他社のお申込みは、ご遠慮いただいております。

締切日：平成21年7月3日(金)
 該当するものに○印をお付けください

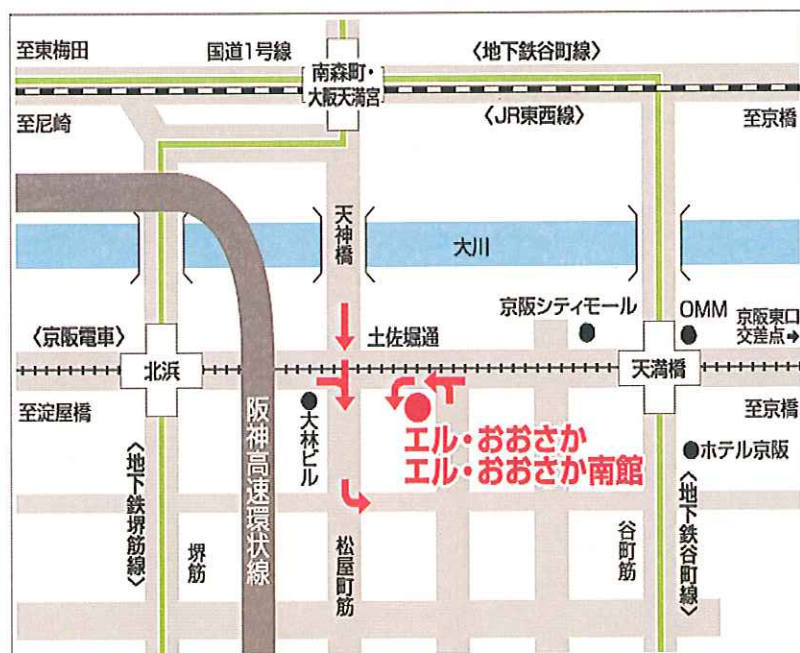


参加 ・ セミナー資料のみ希望

1. *欄に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。
2. 本セミナーでは、グループワークが含まれております。

貴社名* (団体名)	(従業員数： 名)*				
参加者 氏名*	(フリガナ)	所属部署*	役職名*		
住 所*	〒				
TEL*			E-Mail*		
参加日	平成21年7月8日(水)		*下記の個人情報保護の取扱い事項に ☐ 同意する ☐ 同意しない ご記載頂きました個人情報(以下個人情報という)は、お申し込み頂きましたセミナー、および弊社商品に関するご連絡に使用させていただきます。尚、個人情報につきましては、弊社個人情報保護方針に則り厳重に管理し、第三者への提供、社外への業務委託は行いません。また、個人情報の開示、訂正及び削除につきましては、下記担当者宛にご連絡頂きますようお願いいたします。		

会場地図



＜交通のご案内＞

- 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m
- 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m
- 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ1,200m
- JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m



【お問合せ先】

株式会社フィスメック 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-12-10 ダイゼンビル 6階

セミナー事務局 担当：藤田

TEL：06-6258-5670 E-mail：fismec-w@fismec.co.jp HP：http://www.fismec.co.jp



社団法人 大阪金属プレス工業会

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町 5-5-15

TEL (06)6762-8629 FAX (06)6762-7633

<http://www.omsa.or.jp/>

[mail:omsa1@omsa.or.jp](mailto:omsa1@omsa.or.jp)